



# 化生研セミナーのお知らせ

## 老化細胞を標的として加齢病態を改善する

Targeting senescent cells to improve age-related diseases

中西 真 先生(東京大学医科学研究所  
癌防御シグナル分野 教授)



ヒトはなぜ老いるのか？この誰もが経験する生理現象は、科学技術の進歩した現代においてもほとんど理解されておらず、大きな謎となっている。一方、老化現象は生物種により様々で、生命にとり必須の現象ではないことも明らかとなってきた。老化はがんを含めた殆どの疾患の大きなリスクファクターであるが、その理由についても明確な解答は得られていない。最近になり、老化細胞などの炎症誘発細胞が加齢に伴い臓器・組織に蓄積し、微小環境に悪影響を及ぼすことが、臓器の機能低下や疾患の発症基盤となることが分かってきた。生体内の老化細胞は存在する臓器や、刺激により多彩な性質を示すが、それらの多くは周囲の正常組織に対して炎症を惹起するなどの悪い影響を与えると考えられる。重要なことに、加齢個体から老化細胞を除去すると加齢に伴う臓器・組織の機能低下や、様々な老年病が改善することが示された。本講演では、代謝的特性を利用した老化細胞除去や、自己の免疫を利用した老化細胞除去に関する最近の知見を紹介し、老化細胞を標的としてヒトの加齢病態を改善できるかどうか議論したい。

2023年10月13日 16:00～17:30

化学生命科学研究所 R1棟高層棟 2F 第3会議室

ZOOM配信 Meeting ID: 918 1904 8853 PW: 8dpCD0